
あとがき

『東北大学生のための情報探索の基礎知識. 基本編 2010』をお届けいたします。2003年にはじめて刊行された本書も、今回で第7版となりました。2010年版は2009年版の内容や構成をほぼ踏襲していますが、新しく導入されたツールを追加するとともに、従来のツールについても解説や図表の補訂・見直しを行いました。また、執筆当初から掲げてきた次の基本方針は本書においてもそのまま踏襲しています。

- ・主に新生を想定した説明内容とする。
- ・東北大学内の利用環境に則したツールの紹介を行う。
- ・電子版も作成するが、学生が愛着を感じるような冊子体を作る。

『東北大学生のための情報探索の基礎知識』シリーズは、『基本編』『自然科学編』『人文社会科学編』『英語版』の全4冊から構成されています。本書の内容を十分咀嚼された方は、より専門的・発展的内容を含んだ『自然科学編』『人文社会科学編』を参照されることをお奨めいたします。

また、『基本編』をテキストとする全学教育科目授業「大学生のための情報検索術」も開講以来6年を経過し、学生の皆さんの評価も定着しつつあるようです。本シリーズが今後とも学生の皆さんに愛着をもって迎えられるよう努めて行きたいと思っておりますので、ご意見やご要望をお寄せいただければ幸いです。

インターネットの浸透は、大学での学習や研究活動を大きく変えつつあるといえます。情報のデジタル化・ネットワーク化によって、私たちは多くの情報を容易に入手することができるようになりました。しかしその反面、ウェブサイトに溢れる情報の中には、不確実なもの、意図的な誤りに満ちたものなども決して少なくありません。誰もが情報を容易に受発信できる現在では、それらを正しく選別し、そして発信するための確かな知識と技能を養うことが一層強く要請されています。そしてそのような能力は、大学での学習や研究活動に留まらず、これからの社会を生きて行くうえでも必要不可欠となるものに違いありません。本書が、膨大な情報を主体的に活用する能力を身に付けるための基礎的なテキストとしても、存分に活用されることを祈ります。

最後になりますが、本書の編集にあたりご理解とご支援をいただきました関係職員の皆さまに感謝申し上げます。

2010年3月吉日 図書館情報教育支援WG
『情報探索の基礎知識. 基本編』編集代表 代田 有紗

■ 参考文献（著者の50音順）

- 1) 池田祥子. 『文科系学生のための文献調査ガイド』. 青弓社, 1995.
- 2) 海野敏, 影浦峯, 戸田慎一. 『学術情報と図書館』. (講座図書館の理論と実際, 9). 雄山閣, 1999.
- 3) 扇元敬司, 伊藤敏. 『学術情報の上手な仕上げ方』. 川島書店, 1994.
- 4) 大竹秀一. 『だれも教えなかったレポート・論文書き分け術』. エスシーシー, 2005.
- 5) 慶應義塾大学日吉メディアセンター編. 『情報リテラシー入門』. 慶應義塾大学出版会, 2002.
- 6) 斉藤孝, 佐野眞, 甲斐静子. 『文献を探すための本』. 日本エディタースクール出版部, 1989.
- 7) 情報科学技術協会. 『情報検索の基礎』. 第2版. 日外アソシエーツ, 1997.
- 8) 長澤雅男. 『情報と文献の探索』. 第2版. 丸善, 1987.
- 9) 仲本秀四郎. 『情報を考える』. (丸善ライブラリー, 073). 丸善, 1993.
- 10) 新潟大学附属図書館「情報検索とその活用」編集委員会編. 『情報図書館：大学で役立つ情報検索法』. 同委員会, 1998.
- 11) 大串夏身. 『チャート式情報アクセスガイド』. 青弓社, 2006.

■ 編集担当（所属は2010年3月現在）

編集 : 代田有紗（情報サービス課参考調査係）、菅原透（総務課情報企画係）
佐藤亜紀子（工学分館）、加藤亜紀（農学分館）

■ 2009年版以前の執筆者（50音順・東北大学転出者は現在の所属）

落合浩平（宮城教育大学）、勝本加奈子、菊地良直、木戸浦豊和、阪脇孝子（東京大学）、佐藤初美、杉山智章（静岡大学）、関戸麻衣（国立国会図書館）、宗川かほり（国立高等専門学校機構）、永井伸、中村直子、半澤智絵、檜原啓一、藤澤こず江、藤本菜穂子（宮城工業高等専門学校）、吉植庄栄、米澤誠（国立情報学研究所）、渡邊愛子

※ 本文中に掲載した画面例の著作権者からは、本書への掲載をご快諾いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

現在お使いの蔵書検索や MyLibrary などの図書館システムは、2011年に更新される予定です。